

受験者用資料（後半・キ、ク、ケ、コ、サ、シ・グループ用）

【課題】

次の【場面設定】において、下の【手順】に従って、PRビデオの内容を考え、グループ全員でPRビデオの実演をしてください。

【場面設定】

近年、「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の取組を進めていくことが求められています。そこで、そのための取組の1つとして、私生活の充実がより図れるよう「気持ちをリフレッシュさせる新たなスポット」を開発することとなりました。

グループで「気持ちをリフレッシュさせる新たなスポット」を開発するとともに、そのスポットのPRビデオ（1分間）を作成し実演してください。

【手順】

活動1：一人演技（7分）

受験者Aは、他の受験者に向けて、自分自身の「気持ちをリフレッシュしている私」を、一人演技で1分間、表現する。その際、活動用の机の上にある1分間計測できる砂時計を使って、1分間を計ること。

受験者Aの一人演技終了後、他の受験者も、受験者B、受験者C、・・・の順に、自分自身の「気持ちをリフレッシュしている私」を、一人演技で、1分間、表現する。

※グループ内の全ての人が一人演技を終えたら、活動2を始める。

活動2：「気持ちをリフレッシュさせる新たなスポット」の開発及びPRビデオの内容の協議・練習（9分）

活動1で、それぞれが演じた「気持ちをリフレッシュしている私」を参考に、「気持ちをリフレッシュさせる新たなスポット」を開発する。

「気持ちをリフレッシュさせる新たなスポット」を伝えるPRビデオの内容を協議するとともに、グループ全員でPRビデオの練習をする。

※必要に応じてグループの机を動かしてもよい。

活動3：PRビデオの実演（1分）

「気持ちをリフレッシュさせる新たなスポット」を伝えるPRビデオの実演（1分間）をする。

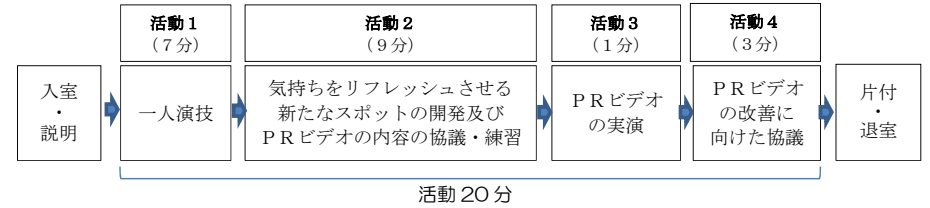
※評定者の合図を受け、評定者の方を向いて演じる準備をすること。
※実演は評定者の合図で開始し、砂時計で1分経ったら終了すること。
※PRビデオの実演が終了したら、活動4を始める。

活動4：PRビデオの改善に向けた協議（3分）

活動3の「PRビデオの実演」を振り返り、次にPRビデオの実演するための改善点を出し合い、改善策をまとめる。

【進行・時間】

試験場内におけるグループワークの進行・時間は次のとおりです。



- グループワークの途中の時間については、次のとおり評定者が告知するので、指示に従うこと。
 - 10分経過時：「PRビデオの実演6分前です。」
 - 13分経過時：「PRビデオの実演3分前です。練習がまだできていないグループは、練習を行ってください。」
 - 16分経過時：「PRビデオの実演の準備をしてください。」
：「砂時計で1分経過したら、PRビデオの実演を止めて活動4に移ってください。それではPRビデオの実演を開始してください。」

- 試験時間終了の合図があったら、途中であっても止めること。

【留意事項】

- この資料は、グループワークで使用するので、試験場に持って入ること。
- 試験場に入る前に、各自の筆記用具（メモをとるのに必要な筆記用具を1本）を準備しておくこと。

【片付け・退室】

試験時間終了の合図の後、次のとおり片付け・退室の指示をします。

- 机を移動した場合は、元の位置に戻すこと。
- ゼッケン、受験者用資料（この資料）及び控室用資料は、各自ゼッケンのあった椅子の上に置くこと。（持ち帰らないこと。）
- 片付けが終了したら退室すること。

メモ欄（必要があればメモ欄以外の余白にメモをとってもかまいません）